

春江東部



(コスモス)

春江東部地区まちづくり協議会広報担当(春江東コミセン内)

URL <http://haruetobu-machikyou.com/>

坂井市春江町中筋28-1-1 (Tel & FAX 51-0187)

e-mail haruhigashi-cc@city.fukui-sakai.lg.jp人口: 4,969人
(男 2,416人・女 2,553人)

世帯数: 1,750世帯

(2022.8.31 現在)

「さかい未来創造座談会を開催」

(春江東コミュニティセンター)

日 時: 9月2日 (金)

さかい未来創造座談会が開催されました。坂井市では、これからのまちづくりや市の政策について市長が地域に出向き、直接住民の声に耳を傾け懇談することにより、住民ニーズの把握と寄せられた要望や意見、提案を政策に反映する等、住民参加のまちづくりを積極的に進めることを目的としてこの座談会を市内各地で開催しています。



今回は春江東部地区を対象として開催されました。地域住民からの参加者は、まちづくり協議会、区長会や地域づくりを展開する若者、ボランティア団体等の13名の方々が参加されました。市からは、池田市長、新開副市長、林教育長、西総合政策部長が参加されました。

地域住民の参加の皆さまは、参加者の立場毎に、自由に市政に対する思いやアイデアを3分程度の持ち時間で話され、最後に市長が参加者の多様な意見等について、まとめて思いを語られました。

春江東部地区わがまち・ふるさとづくり計画が策定されました

坂井市から、各地のまちづくり協議会に対し、自分たちの特性を生かした「まちづくり計画」の見直し策定が求められています。春江東部地区においては「まちづくり計画」について、東部地区の各種団体の皆さまからのご意見を頂き「春江東部地区 わがまち・ふるさとづくり計画」令和4年8月版を策定いたしました。

計画書は、春江東部地区まちづくり協議会ホームページ(<http://haruetobu-machikyou.com/>)に掲載しています。また、書面は春江東コミュニティセンターの広報関係コーナーに据置きしてあります。計画概要は以下のとおりです。

持続可能なまちづくり活動を目指して!

まち協・自治会や各種団体をはじめ住民の皆さんとともに、地域の課題・問題等について我が事として考える。

住民と行政が協働して、役割を分担し実践できるよう、コミセンを中心とした住民参加型まちづくり計画を推進する。

春江東部地区わがまち・ふるさとづくり計画



令和4年(2022年)8月

春江東部地区まちづくり協議会
会長 黒瀬 則雄春江東コミュニティセンター
センター長 渡邊 雅彦

行事・催し (インフォメーション)

● 鯖江駐屯地見学会のご案内

(まち協サーフティークラブ主催、春江東実年会共催)

- 日 時：10月30日(日) 9時～
- 募集人員：先着 30名
- 締め切り：10月11日(水)
- 参加費：大人1,500円、子供1,000円
- ※ お申し込みは春江東コミセンまで
- ※ お問い合わせは高橋まで 090-1315-6678

● アーモンド収穫祭

(まち協アーモンドプロジェクト主催)

- 草木染め
日 時：11月12日(土) 9時半～
募集人員：15名
- お菓子作り
日 時：11月19日(土) 9時半～
募集人員：15名
春江東コミセンまで ☎51-0187



● まち協福祉クラブ主催講演会

演題：薬を安全に使うために

日 時：11月24日(木) 9時半～

※ お申し込みお問い合わせは

春江東コミセンまで ☎51-0187

※行事催しにつきましては、新型コロナの感染状況により中止となる場合があります。

「アーモンドの収穫を行いました！」

B & G 海洋センター 8月28日(金)



8月28日(金)春江東小学校6年生の児童の皆さんが、春江B & G 海洋センター敷地でアーモンドの実の収穫を行いました。

今年は梅雨明けが早く、猛暑となった等のため多くの実が落ちていましたが、学童の皆さんが袋いっぱい収穫し、仕上げに収穫した実から種を取り出しました。



「石仏地区にてアーモンドを収穫」

8月21日(日)猛暑のなか、石仏区では今年もアーモンドの実を、石仏子供会とまち協が協力して収穫しました。子供たちは大粒の汗をかきながらも楽しそうにアーモンドの実を袋いっぱい収穫しました。



(いっぱい収穫しました)



(たくさん取れました)

夜のコミセンテラスでお月見会



中秋の名月である9月10日、東コミセンテラスにてお月見会が行われました。春江東小学校児童と保護者約30人でお月見を楽しみました。当日はあいにくの曇り空で心配しましたが開始早々雲がはれて満月が10分程顔を出してくれました。この光景にみんなで拍手をして喜びました。

スタッフや子供たちの手作りのきな粉餅やピザを食べながら秋の夜長を過ごしました。

春江東放課後子ども教室
青少年育成市民会議東部支部

安全講習会

春江東コミュニティセンター

9月11日(日) 春江東実年会主催・サーフティークラブ共催



時速10kmでの自動ブレーキの体験、サポート限定免許制度についての説明、また「さかいドラレコ隊員」の募集の話がありました。

辻岡実年会会長は「とっさのアクセル、ブレーキ操作が出来ないことがある。いざというときに安心ですね。」と語られていました。



わたしの人生ってこんなもの

東風

【ブチ家出1回目ー20代】

嫁いで1年目は、流産をし婚家のどこにもわたしの居場所がないと寂しく感じていました。その日も、夕食後の家族会話に入れず、「お母さんに会いたい、お母さんの声が聞きたい…」の一心でみんなが寝静まった時間にタクシーに乗って実家へ。母は黙って迎えてくれました。何も聞かない母と一枚の布団で寝ました。翌朝4時頃「朝ごはんの用意があるんでしょ。さあ、タクシーが来てるから帰りなさい。」そして、「辛いことがあった時には、庭の草むしりをしなさい。もやもやした気持ちも庭もきれいになるから。」と。母もこうして生活していたのかと思うと、親不孝なことをしてしまったと自分が情けなくなりました。

【ブチ家出2回目ー50代】

婚家の両親が痴呆になり、私の負担は大きくなるばかり。夫は責任ある仕事で忙しく、なかなか協力してもらえない状態ではありませんでした。そんなある時たがが外れたというのでしょうか、何もかも投げ出したい気持ちになり、夕食の後かたづけを済ませてから明朝の朝ごはんの用意をして、車に乗り込んでいました。勤務先に近い芦原温泉で一泊しました。湯船につかりながら、ちゃんとご飯を食べるかなあと心配していました。翌日帰宅した時は何事もなかったかのような通常の生活が待っていましたが、これでいいかと妙に納得している私がいま

今では、でんと構えて居座っています。金婚式を迎えますます元気な私です。 70代 女性